

BIG BEN

p1 移転後のクラブハウスはこうなる

p2 写真探訪：「グリーンマン」

p3 夏休み！：旅行の安全対策

p4 「びっぐべん」電子化、メール登録を！

p4 源幸美栄さんが連覇（年次ゴルフ大会）

p5-6 短信：日本人社会の動き

p7 エッセー：「夏が来れば思い出す」

p8 理事の交代、同好会案内

日本クラブ移転

確保されるラウンジ、会議室

日本クラブのクラブハウス移転のニュースは前号でもお知らせしましたが、移転後の施設の概要が明らかになってきました。全体のスペースは現在のサミュエル・ハウスよりかなり狭く（1,414sqf）になりますが、それでもラウンジ、会議室は確保されることになりました。

ラウンジにはテーブルと椅子が置かれ、日本の新聞を読むことができますし、コーヒーや飲料水の自動販売機が備えられます。

会議室は10人収容の部屋が2室と14人収容の部屋が1室の合計3室が設けられます。この3室の壁は可動式パーティションになるため、それを開放すれば大会議室として使え、最大30名がテーブルに着席可能となります。また、講演会などのためテーブルを取り除けば、それ以上の人数の収容も可能です。

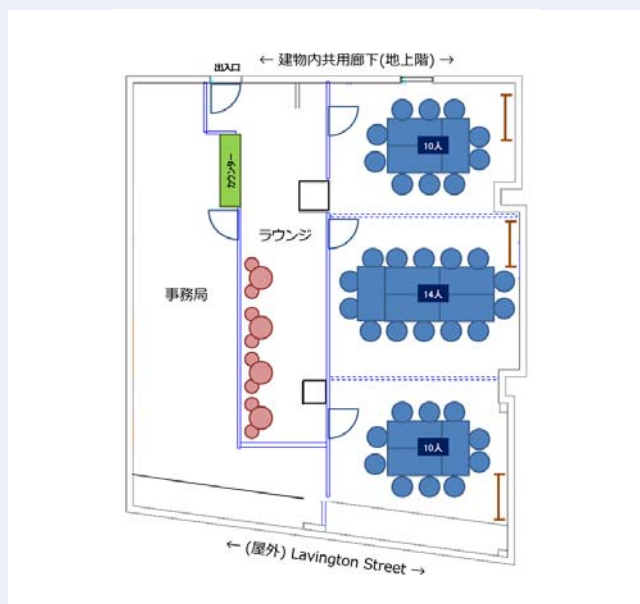


移転後の会議室の利用料金は立地条件変更による利用状況を見極めるため、来年3月末までは現行の小・中会議室の利用料金をベースに料金を設定することになっています。また、サロンの営業時間も来年3月末までは、現在のサミュエル・ハウスでの営業時間を継続する予定です。

<交通も便利>

日本クラブが移転するテムズ川の南側サザック（Southwark）地区のバンクサイドと呼ばれるエリアはロンドンの中でも最も再開発が急速に進む地区の一つで、新しいガラス張りの近代的なビルが建築されており、新しいオフィス街として、またギャラリーやアートセンターが並ぶ文化地区として注目されています。

日本クラブ周辺にはテートモダン・ギャラリー、バンクサイド・ギャラリー、コンテンポラリー・アブライドアート・ギャラリーといった大きなギャラリーがありますし、シェークスピアのグローブ座をはじめ、ピノポリス・ワイン博物館や、クリンク監獄博物館といった博物館もあります。



日本クラブに一番近い地下鉄の駅はジュピリー・ラインのサザック駅です。モダンな駅舎の前から広いユニオン・ストリート向东に向かい2本目のグレート・サフォーク・ストリートを左折してプレミア・イン・ホテルの角を右に曲がればそこがラビントン・ストリート、駅から歩いて約5分の距離です。

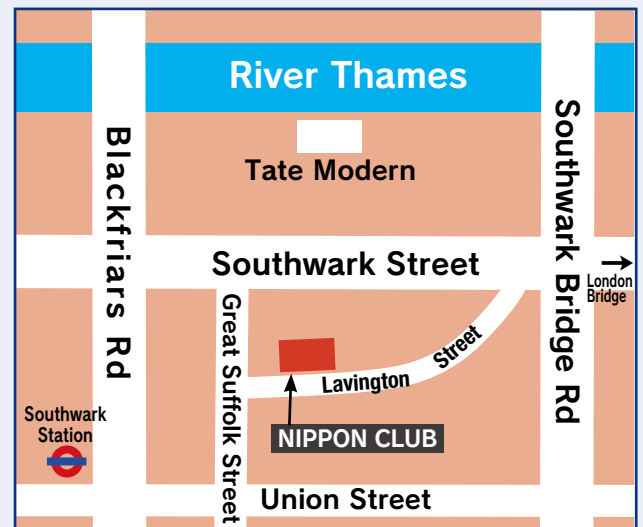
新しい日本クラブはロンドン・ブリッジ駅からも近い距離です。駅を出てサザック・ストリート向西に向かい、人気のバラ・マーケットを通り過ぎるころから道路の両側には新しいビルが建ち並び、ここがロンドンかと思われるような光景が広がります。しばらく行くと左側にラビントン・ストリートがあります。駅を出てから10分ぐらいで着きます。

バスの利用は381番（カウンティ・ホール～ベッカム）RV1番（コベントガーデン～タワーブリッジ）が便利です。テムズ川の南というと、何となく馴染みがない人が多いかも知れませんが、ここはシティーやウエスト・エンドにも近く、交通の便も発達しています。

新しい日本クラブの規模は少々縮小されるものの、ラウンジ、会議室等の機能は使えるようになりますので、日本

クラブでは会員の方々に引き続き利用してもらえよう期待しています。

新しいクラブハウスの利用開始は8月の移転後となる予定。
Nippon Club
Europoint, 5-11 Lavington Street, Southwark
London SE1 0NZ



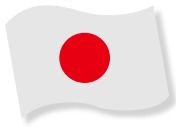
写真探訪 Around London

【Green Man】



ロンドン各地に「グリーンマン」という名のパブがある。木の枝や葉を顔や体にまとった看板が出ている。教会や大聖堂の屋根や柱にグリーンマンの顔を彫刻した飾りがあるのも見かける。グリーンマンの起源には、神話に登場する宗教的象徴、森の守護神、生命起源のシンボル、蘇生の体現とか諸説あるが、ローマ時代から全ヨーロッパに存在している。イギリスには11世紀ごろから導入され、宗教的に利用されたり、ロビンフッドのイメージと重ね合わせて、パブの名前に使われるようになった。現代では環境保護のシンボルとして役立ちそうだが、その神秘性から何となく信仰の対象にもなっている。

（オックスフォード・ストリートで
撮影：加藤節雄）



夏休み、旅行の安全対策!!

皆様、夏休みのご旅行の準備は万事怠りなく進めておられるでしょうか。旅行で出会えるのは、美しい風景とおいしい食べ物、優しい人々だけとは限りません。スリ、置き引きなどの犯罪被害、過労などによる旅行中の病気などにも気を配り、安全で楽しい旅行に向けての安全対策と心の準備も万全にしておきましょう。

旅に出ると、日頃の生活からの解放感もあって、つつい油断が生じがちです。こうした心のスキが、海外では残念な旅行になってしまいかねません。せっかくの楽しい旅行ですから、出発前に外務省の海外安全ホームページや目的地の日本大使館のホームページ等から渡航先の情報をしっかりと収集し、万一に備え、海外安全ホームページの「海外安全虎の巻」で自分の安全を守るための知識を身につけておきましょう。そして、旅先では決して油断せず、常に「自分の身は自分で護る」との意識を持って、安全で楽しい旅行を心がけてください。

ここ最近、英国の在留邦人がスペイン、オランダ、フランスなどで相次いでパスポートの盗難に遭う事件が報告されています。パスポートは現地にある日本大使館で作成してくれますが、皆様、パスポートに添付されていたビザが

なくなり、英国に入国できるだろうか、と心配して在英日本国大使館に問い合わせをしてきたため、盗難事件に遭ったことがわかりました。

パスポートを紛失すると多くの場合日程の変更を余儀なくされます。更にビザも紛失するととっと大変です。英

国政府ホームページによると、BRP (Biometric Residence Permit) カードの場合は、「replacement BRP visa」を申請し、その発給を受けなければなりません。また、パスポートに添付されたビザの場合、紛失したビザの再発給を受けなければならず、かつ、同じ料金を支払う必要があると記載されています。そんなことになる、大変な手間と時間と費用を費やすことになってしまいます。くれぐれもパスポートとビ

ザの盗難にはご注意下さい。ただし、英国の入管法はご存じの通り頻繁に変更されるので、この記述はあくまで本稿作成時のものです。万一、盗難に遭った場合には、滞在国の英国大使館に確認して下さい。また、BRPカードを自宅に置き忘れて出発してしまった方もおりますので、これも忘れないよう注意しましょう。

皆様、安全で楽しいご旅行をお祈りします!!



「びっぐべん」がオンライン版になります！

◆今年の11月号より

毎奇数月に皆様にお届けしている日本クラブ会報「びっぐべん」が11月号（第214号）よりオンライン（電子）版になります。日本クラブでは電子版への移行をスムーズにするため、今月号と9月号はペーパー版とオンライン版の両方を発行します。是非オンライン版「びっぐべん」をご覧ください、会員の皆さまのご意見、ご感想等を下記アドレスまでお寄せいただきたいと思います。

jimukyoku@nipponclub.co.uk

◆誌面刷新、増ページも

電子版「びっぐべん」はカラー版となるため、見出し、図表等はより分かりやすくなります。今まで誌面の都合で小さくしか使えなかった写真を大きくして、モノクロ印刷では出せなかったディテールが表現出来るようになります。また、コンピューター上で文章を読みやすくするため、テキストの文字をやや大きめにし、行間スペースも今まで以上に空けて、読みやすくする工夫もします。必要なら増ページもすることになっています。

◆メールアドレスの登録が必須

電子版「びっぐべん」はメールアドレス登録をしている会員全員に毎号EメールでURLが送信されますので、それをクリックして画面を呼び出すことになります。そのため、「びっ

ぐべん」を引き続き購読いただくためには会員の皆様のメールアドレスの登録が必須となります。

メールアドレス登録は会員及びその家族の方がそれぞれに登録することが出来ます。例えば銀行に勤めるAさんの家族の場合、Aさんの会社のメールアドレス、奥様のメールアドレス、中学生の娘さんのメールアドレスと、3つのメールアドレスを登録すると、家族全員がそれぞれのメールアドレスに送信された「びっぐべん」を読むことができますようになります。

今まで郵送の場合は「びっぐべん」は1家に1部と限定されていましたが、電子版の場合には家族全員が各々「びっぐべん」を受け取ることができるようになります。また、メールアドレスを登録すると、クラブからのお知らせ、診療所だより、同好会だより、コンサートや各種行事へのご案内や会員割引等を掲載した「お知らせメール」を受けることも出来ます。

メールアドレス登録は会員とその家族であれば無料です。メールアドレスが日本クラブ以外の目的に利用されることは絶対にありませんので、安心して登録していただけます。

登録はフルネームと会員番号を書いて以下にメールするだけで簡単に出来ます。

oshirase@nipponclub.co.uk

日本クラブ第52回年次ゴルフ大会

源幸美栄さんが連覇

第52回日本クラブ年次大会が6月7日（土）メイドンヘッドGCで開催された。朝からの雷雨もスタート直前で止んで午後は晴天になり、参加した62名（男性52、女性10）が熱戦を繰り広げた。結果は昨年優勝した源幸美栄さんが強豪を押さえて今年も優勝、常深大会委員長より優勝カップが授与された（写真）。試合後の表彰式では日本大使館の宮島昭夫特命全権公使よりご挨拶をいただいた。

●優勝した源幸美栄さんの話：

「今年も優勝するなんて夢にも思っていませんでした。昨年来、スコアを上げようと練習を積んではきたのですが、当日はあまり思う様なプレーは出来ませんでした。昨年もそうだったのですが、優勝はダブルペリア方式のおかげで全くのラッキーです。もっと腕を上げて来年も是非参加したいと思っています」。

- 優勝：源幸美栄／2位：牛堂行博／3位：大庭達哉
- 第52回大会賞：英田淳司
- ベストグロス賞：男性；須原潤也(75) 女性；大和田秀子(88)

●年次ゴルフ大会の賞品寄贈協賛リストは7面に



短 信

COMMUNITY PLAZA



安倍首相が来英

安倍晋三首相が4月30日（水）から5月2日（金）までの3日間、欧州6カ国歴訪の一環としてイギリスを訪問した。バッキンガム宮殿やウエストミンスター寺院を訪ね、キャメロン首相との日英首脳会談やギルドホールでの講演会、IODでの対日投資セミナー、オリンピックパーク視察等、多忙なスケジュールをこなした。1日午後にはUCL大学で開かれた日英研究教育大学協議会へ出席、同校にある長州ファイブ記念碑を視察した。（写真① UCLの記念碑を視察する安倍首相 撮影：加藤節雄）



日本庭園でお花見ピクニック

シェパーズ・ブッシュにあるハーマスミス公園の日本庭園で5月4日（日）に日英お花見ピクニックが開催された。今年で第3回目になるこのピクニックは英国日本人会とハーマスミス公園友の会の共同主催で毎年行われている。今年は冬が暖かく桜の花はすでに終わってしまっていたが、それでも「花よりダンゴ」とい

うわけで、日本人会の提供による日本食を食べながら日英交流を楽しんだ。この日のピクニックにはハーマスミス＆フラム区よりステイントン区長及び日本大使館より浅利公使が参加して挨拶した。（写真②）



日本大使館で和食のイベント

和食が世界遺産に登録されたことを記念して、林景一大使は今年を「和食年」と位置づけ、各種催し物が開催されている。5月8日から6月末まで大使館ギャラリーで「和食展」が開催された。また、5月7日（水）には和食と食器についての九州陶磁文化館鈴田由紀夫館長等の講演や料理家横山あけみさんによる手まり寿司の作り方の実演が行われた。（写真③横山あけみさんによる実演 日本大使館提供）



中嶋 夏 舞踏公演

日本の舞踏は独特な体の動きとか間合いの取り方で、西洋のダンスにも影響を与えているが、イギリスでも「Butoh UK」や「Asian Performing Arts」という組織が積極的に舞踏を

紹介している。そんな中5月30日（金）にはロンドンのサウスバンク大学のエドリック劇場で舞踏家中嶋夏の公演「煙のように 灰のように」が行われた。中嶋夏は暗黒舞踏のオリジナル世代で、英国公演は30年ぶり。6月2日から6日までイーストエンドのチセンホール・ダンスセンターでワークショップも開催された。（写真④）



ロンドン茶会「喫茶去」

専門家でなく一般の人にお茶を楽しんでもらおうという趣旨でロンドン茶会が6月14日（土）、ロンドンの王立オーバーシーズ・リーグで開催された。この茶会を主催したのは裏千家淡交会英国協会、日本クラブ会員も招待された。お茶は堅苦しいものという先入観を取り除き、解説や難しい作法抜きで、気軽に「お茶をどうぞ」という感覚で、抹茶と干菓子を楽しんでもらおうというユニークな企画。英語でもティー・セレモニーと言わずに、ティー・ギャザリングと呼んでいる。会場はお茶を楽しむイギリス人で賑わった。（写真⑤）



英国最大の陶芸の祭典

今年第 20 回を迎える英国最大の陶芸祭「アート・イン・クレイ」が今年もハートフォードシャーの貴族の館ハットフィールド・ハウスで 7 月 4 日（金）～ 6 日（土）の 3 日間開催される。イギリスを始めヨーロッパの陶芸家 200 人が参加、マーキーでの展示即売のほか、レクチャーやデモンストレーションがある。ハットフィールド・ハウスは M 25 高速道路の北 7 マ

イル、電車ではキングス・クロス駅から 20 分。（写真⑥ジョン・ヒギンズ作品）

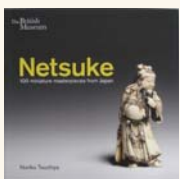
● Art in Clay Hatfield
Hatfield House
Hertfordshire AL9 5NQ
7 月 4 日（金）～ 6 日（日）
10:00am ～ 5:30pm（金・土）
10:00am ～ 5:00pm（日）
入場料：大人 £9（15 歳以下無料）
www.artinclay.co.uk

ハイパー・ジャパン：7 月に開催

日本の文化を総合的に紹介する「ハイパー・ジャパン」（クロス・メディア社主催）が今年も 7 月に開催される。アニメ、マンガ、コスプレといったポップカルチャーから、伝統武道、寿司コンテストを含む日本食、ステージ公演に至るまであらゆる日本文化が紹介される。（写真⑦）

Hyper Japan
入場料：£12（前売）、£15（当日）
www.hyperjapan.co.uk

「根付」紹介の本



日本人なら誰でも知っている根付だが、その用途や作り方、材質、また彫刻が何を表現しているのかという詳細になるとあまり馴染みがない人も多い。しかも、骨董品としての価値は海外では非常に高く、数百万円もするものもあるというから驚きだ。この本は大英博物館にある 2,300 のネツケ・コレ

クションの中からトップ 100 を選び、キュレーターの土屋範子さんが、その歴史や材質、彫られた彫刻の物語等を解説している。また、この本は大英博物館で開催されている「根付展」とも対応している。根付は江戸時代に男性ファッションとして人気があり、かなり凝ったものが作られたが、明治になり、男性の服装は着物から洋服に変わったため、根付の制作は下火になった。現代になり男性の着物が見直されてきているが、果たして根付も復活するだろ

うか。

● Netsuke – 100 miniature masterpieces from Japan
The British Museum 発行
224 ページ 定価 £14.99
ISBN 978 0 7141 2481 0
● Dressed to impress: netsuke and Japanese men's fashion
「江戸の洒落男：根付と江戸時代の男性ファッション」
Room 3
The British Museum
8 月 17 日（日）まで 入場無料

夏がくれば思い出す

今年は冬が暖かった割にいつまでも雨が多く、なかなか「暑い」夏になりません。気温や天気を指標にしていると、季節感が狂ってしまうのが、イギリスです。まだまだ寒いとコートをしめえずにいるうちに、それでも暦の上では月日は流れ、フットボールのワールドカップ、ウィンブルドン・テニス、試験、夏休みと、それぞれの人が関心を持つ行事が目白押しです。

そして、気温がぐんと上がり、いよいよ夏という日々になると、この短い夏を逃してなるものかと、イギリス人は薄着をして（着ていなかったりして）一斉に戸外に出ます。ことわざに“Make hay while the sun shines”とされているのですが、働くどころかいかにものんびりするかが一大事です。

BBQやピクニックに誘われて公園などに行くと、まずピクニックシートを広げる場所で文化の違いを感じます。イギリス人をはじめヨーロッパの人々は、かんかんとした日照る所が一等地。対して日本人はかたや涼しい木陰に陣取るのが当然と思うので、バッチングすることはないのですが、友達どうしですと、話が遠くて困る事態になります。

BBQではもちろん肉が主役ですが、驚くことに、結構魚が登場します。たいていはイワシですが、これはポルトガルへホリデーに行つて覚えた味なのでしょうか。日本的な四角い網ではなく、イワシを放射状に並べて円形の2枚の網に挟んで焼きます。これなら、ひっくり返すときに1匹



ずつボロボロにしないできれいに焼けます。また、ガーデン・パーティーでよく見かけるのが冷製のサーモンです。サーモンを1匹入る専用の鍋(fish kettleと言います)でゆでて冷まし、上の皮をはいて、そこに薄切りきゅうりをまるでうろこのように並べて飾りつけます。パブですと、このころ取れるwhitebaitという小魚の唐揚げをつまみに取ると最高です。

そして飲み物といえば、やはり薄切りきゅうりの入ったピムス。あるいはビールも味のある常温エールをちびりちびり。女性にはエルダーフラワー・コーディアルというノンアルコール・ジュースが、上品な飲み物として人気があります。デザートに忘れてならないのが、様々なベリー類がたっぷりと詰まったサマー・プディングです。

ブラックバードの美しい鳴き声を聞きつつ、いつまでも明るい戸外で過ごす至福のひと時... これぞイギリスの夏の思い出です。

第52回日本クラブ年次ゴルフ大会賞品寄贈協賛リスト (受付順)

アサヒビール株式会社、Mitsui & Co. Europe Plc、Europe Golf、日本郵船株式会社、日本航空
大和証券キャピタル・マーケットズヨーロッパ・リミテッド、NTT Europe Ltd、株式会社富士インダストリーズ
Japan Marine United Europe Ltd、Mitsubishi UFJ Trust & Banking Corporation、英国日本通運株式会社
全日本空輸株式会社、NEC Europe Ltd、但馬亭、東海旅客鉄道株式会社、欧州三井住友銀行、Marubeni Europe plc
三菱東京UFJ銀行、Mitsui Fudosan (UK) Ltd、くるくる寿司、JX Nippon Oil & Energy Europe Limited
いけだレストラン、株式会社商船三井、Japan UK Property、Mitsubishi Estate London Limited
Relo Transeuro Ltd、Casio Electronics Co. Ltd、欧州三菱商事会社、Sojitz Europe plc、日経ヨーロッパ社
Sumitomo Corporation Europe、KDDI Europe Ltd、鹿島ヨーロッパ、Nomura International plc
“K” Line (Europe) Limited、Toppan Printing Co., (UK) Ltd、センターピープル、Tateishi Showa Trading Ltd
キャノンヨーロッパ Ltd、JEOL (UK) Ltd

日本クラブ理事の交代

- ◆副会長：岩見博之氏から大島眞彦氏へ（ともに三井住友銀行）
- ◆日英交流促進（副）：寺島喜義氏から新井大介氏へ（ともに川崎汽船）
- ◆無任所：長井滋人氏から松下顕氏へ（ともに日本銀行）

引っ越し？ 住所変更を！

- ◆引っ越しの際には必ず日本クラブへ住所変更届けを提出してください。会員登録は自宅住所登録が原則です。変更届はホームページからダウンロードできます。 www.nipponclub.co.uk

日本クラブ・ゴルフ同好会

- ◆月例会：開催中
- ◆会 場：Maidenhead Golf Club
- ◆問い合わせ：☎ 07810-545023（西川）
charles.nishikawa@btinternet.com
2014 年度入会受付中（申し込みは HP から）

日本クラブ・ブリッジ会

- ◆例 会：毎週火曜日（11:00～15:00）
- ◆会 場：日本クラブサロン
- ◆問い合わせ：reikoe@btinternet.com（桜枝）
見学者歓迎

日本クラブ・グリーンコーラス

- ◆練習日：毎週月曜日（10:10～12:40）
- ◆会 場：Trinity Church, Golders Green
- ◆問い合わせ：yukiko.y130@gmail.com
☎ 07733-544931（吉野）

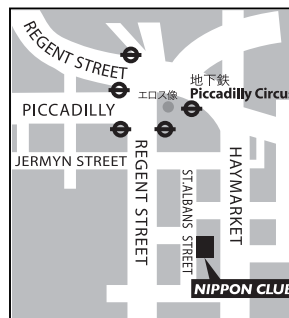
日本クラブ囲碁会

- ◆例 会：毎週土曜日（12:00～23:00）
- ◆会 場：Melton Mowbray Pub
地下鉄 Chancery Lane 2 分
- ◆問い合わせ：☎ 07956-594040（田中）
tanaka@gokichi.org.uk

ピカデリーサーカスから 3 分、クラブサロンのご利用を！

日本クラブサロンはピカデリーサーカスから 3 分の便利な場所にあります。お友達との待ち合わせ、歓談に便利です。ラウンジにはコーヒーやジュース、日本の新聞や JSTV も揃っています。図書コーナーには貸本もあります。会員（及び同伴者）であれば誰でも無料で利用できます。会合のための会議室もご利用になれます。

- * 入口受付で会員証を提示してください。
- * 建物入口が閉まっている場合はブザーで呼び出してください。



● Nippon Club Salon

2nd Floor, Samuel House
6 St. Albans Street, London SW1Y 4SQ
TEL: 020-7930-2004（月～金曜日：10:00～18:00）
月～金曜日：10:00～21:00、土曜日：10:00～16:00

「びっぐべん」に貴社のご案内を入れませんか

「びっぐべん」折り込み広告ご案内

日本クラブ会報「びっぐべん」は駐在員を中心とした全会員の家庭に毎号着実に配布されますので、情報は確実に伝達されます。入退会者、住所変更等、毎日アップデートされているデータベースも信頼が置けます。

「びっぐべん」では会員のための情報提供の一環として案内広告折り込みサービスをしております。新規開店、セール、催し物案内等日本人社会へのご案内に最適です。是非ご利用ください。詳しいお問い合わせは事務局まで。

次回は 9 月 1 日発送予定。お申し込みはお早目に！

ロンドン日本人学校

ロンドンにある特性を生かしつつ、学習指導要領に準じた教育を実践しています

- 運動会・文化祭などの行事
- きめ細かな進路指導・進路講演会
- 英語検定や漢字検定の実施
- 放課後の楽しい部活動（5 年生以上）
- 整った学習環境
- 英会話や英語活動
- 現地校との交流
- 通学バス利用可

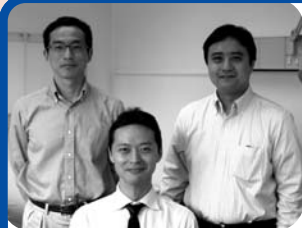


ロンドン補習授業校

英国の現地校等に通学している子ども達が、国語（日本語）の勉強をする「サタデースクール」です

- 毎週土曜日午前中授業
- 校舎はアクトン、フィンチリー、クロイドンの 3 校舎
- 小・中・学部・高等部（学習指導要領に準じたカリキュラム）
- 日本語科（日本語を第 2 母国語とし、日本語の習得を望む児童生徒対象に 7 クラス設置）
- 授業回数年間約 40 回

入学・転入学随時受付 TEL: 020-8993-7145



旅行保険で
キャッシュレス

●日本クラブ 東京慈恵会医科大学からの派遣医師が常勤。在英日本企業 300 社以上がサポート。

NIPPON CLUB メディカルクリニック

当診療所は、ロンドンでも最新設備を誇るプライベート病院の Hospital of St. John and St. Elizabeth（北診療所）と Parkside Hospital（南診療所）内にあり、緊密な提携関係のもと同病院施設の利用・入院手続き等ができる上、必要があれば同病院をはじめ英国の専門医をご紹介します。

- 東京慈恵会医科大学海外派遣機関
- 各種旅行傷害保険取扱
- 海外派遣員医療保険取扱
- 健康診断随時実施
- 婦人科検診随時実施



内科
小児科
一般診療

www.nipponclub.co.uk/clinic

北診療所 020-7266-1121

南診療所 020-8971-8008